

きずな学園



汝の隣人を 愛せよ？



社会福祉法人
吾子の里
〒892-0871
鹿児島市吉野町10793-1
TEL 099-244-3220
FAX 099-244-3227
障害福祉サービス事業
生活介護 きずな学園
障害者支援施設
セカンドハウス きずな野
生活介護センター ゆう
児童デイサービス きずな
就労継続支援B型 きずな塾
相談支援センター あこ



ともに、歩く道 (22)

『阿含經』に出てくる話です。

釈迦がコーサラ国¹の舍衛城に

おられたある日のこと、この國の王パセーナディは、マツリカー王妃と二人で城の高樓にのぼり、夕暮れ時の街を眺めていました。

そのときふと、王が、「マツリカーよ、この世で一番愛おしい者は誰か？」と訊ねました。

おそらく、王としては、「大王様、なんでそんなことお尋ねになられるのですか。私は悲しゅうございます。それはあなた様に決まっているではありませんか」という返事を期待してのことだったのでしょうか。ところが、ことともあるうとか、王妃は、「大王様、この世で一番愛おしいのは私自身でございます。自分の他に考えることはできません」と答え、つづけて、「大王様、あなた様もそうでございましょう。自分よりももっと愛おしい者が他におありでしようか」と反問したのです。

王はウッと詰まつたが、考えてみると、王妃の言うとおりだと納得しました。でも、この考えは、二人が深く帰依している釈迦のいつもの教えとはちょっと違うように思えます。そこで、都の郊外の祇園精舎に釈迦を訪ね、ことの次第の一部始終を語つて教えを乞いました。

釈迦は微笑んで深くうなずかされました。一人の意見に同意されたのです。「そのとおり、自分より愛おしい者は他にいない。だが、同じように他の人も自分が一番愛おしいことに気づくべきである。だから、自分がへの愛おしさを知る者は、他の人を害してはならない」と慈悲の心を諭されました。

同じような言葉は『聖書』にもあります。例の有名な「汝の隣人を愛せよ」です。この言葉は誰でもよく知っていますが、その前に「己を愛する如く」という言葉があるのはあまり知られていません。「自分を愛するように、人を愛しなさい」という教えなのです。

しかし、聖書では、人が自分を愛することを、疑問

の余地のない、まるで幾何学の公理のように考えてい

ますが、本当にそうでしょうか。長年、心理臨床家をやつてきて思い知らされました。この世の中には、聖書の言葉とは異なって、自分との折り合いがつかず、自分を忌み嫌い、悪し様に扱っている人がおおぜい

るものです。

自分や自分の家族すら愛せない者がどうして人を愛することができるでしょうか。だから、「汝の隣人を愛する」ことができるためには、まずその前提として、隣人の隣人、つまり、自分自身を愛することができなければなりません。

一、人を愛することができるか

二、人を信じることができるか

三、人を敬うことができるか

この三つの問いは、日常の生活実践のなかで常に自分自身に問いつづけなければならない大切な問い合わせです。しかし、もうおわかりのように、自分が人を愛し、人を信じ、人を敬うことができるかどうかは、ひとえに、自分自身が愛するに足る、信じるに足る、敬うに足る自分であるかどうかにかかっているのです。

どんな仕事であれ、つまるところ、人が働くということは、絶えず自分を磨きつづけることなんですね。殊に「きずな」では、このことを第一の理念としています。人は誰でもみんな二度と繰り返すことのできないかけがえのない人生を送っているのです。いいかげんな仕事をして自分を無駄に生きるのはもったいないではありませんか。

『涅槃經』に釈迦が弟子たちに告げる最後の言葉ができます。「すべてのものは移り変わってゆく。(己がととのうように)怠ることなく努力せよ」。

第23回クリスマスパーティー

支援員
山下 隆史

きずなでは年に一度、利用者様とそ
のご家族、お世話になつた来賓の方々
をお招きしてクリスマスパーティーを

行つています。

会場は城山ホテル鹿児島のエメラル
ドホール。利用者の皆様もドレスアッ
プして参加され総勢二一二
名で開催されました。

専属のカメラマンにお願
いしてパーティーの始まる
前にはツリーの前でご家族
様と記念撮影。毎年増える
一枚の写真が時を重ねて素
敵な思い出となつています。

パーティーでは毎年素敵
なゲストをお招きしていま
す。今までオペラ歌手の
方や肥後ちゃんかけごまの
ステージ上だけではなく
客席の周りで踊る演出な
どもあり、楽しく鑑賞するこ
とができました。ノンアルコール
シャンパンでみんな乾杯。食事会の始
まりです。

この日のために料理長が考えてくだ
さったコース料理を楽しんでいる
とサンタさんが登場。このサンタ
さんはきずなが大変お世話になつ
ているナンニチリテール様。

プレゼントにみんな大喜び。最
後はみんなでディスコタイム。あ
つという間の三時間でした。

きずなはたくさんの来賓の方々

やご家族の方々に支えられて今日ここ
にあります。これからも、このきずな
を大切にしていきたいと思います。



日本ジエンタルティーチング 研究会ワークショッピング

支援員 末吉 里菜

平成三十年十月三十日・三十一日の二日間に渡り、大阪の富田林市にあるすばるホールにて、日本ジエンタルティーチング研究会ワークショッピング開催二十回記念が開催されました。

今回のテーマは「生の文化の発展に向けて」ということで基調講演・各地区での実践報告が行われました。その中でも『多様性（私が見ている世界とあなたがみている世界が異なるかも知れない）』という言葉が印象的でした。私たちは物事を自己中心的に見てしまう傾向があります。その時に必要になつてくるのが「多

様性」だと思います。色々な考えがあることで対応することができ、それに気づき、知ることができます。職員同士が自分の経験を他者と共有することで、視野が広がり、質の高い支援が行えるのではないかでしょうか。

利用者様が自分らしく生きる為に、私たちには日々考えながら支援を行うことが求められていますのだとthoughtでした。

実践報告では、「ジエンタルティーチングの関わり」について、各地区での発表を聞くことができました。△寄り添うこと△手を用いること（触れる）△言葉を用いること△まなざし（目）。

この基本とした関わりを続けていくことが、私たちにできること。そして、分野は違うけども根本的な所は同じなんだということを知ることができました。



歩一步 支援員 佃 小百合

新任紹介

を重ねるに当たり、あの時の事はこんな事なのだと思います。

そして今きずなで働く中で沢山の行事もあり一つ一つが私の勉強となり利用者様が伸び伸びと楽しい表情が嬉しく思う事ばかりです。日々の業務の中でも先輩事ばかりです。日々の業務の中でも先輩

私は、平成三十年一月よりセカンドハウスきずな野で勤務させて頂いておりまます。時が経つのは早く平成三十年の年はあつという間に経ち私はきずな野の職員となり一年が過ぎようとしています。

きずなに入職する前は二十三年余り老人介護の仕事に関わっていました。常に生きることの大切さ、命の大切さと向き合い御高齢の方（人生の大先輩）から沢山の事を学ばさせて頂き、今自分が年齢

今回の研修では、今までの自分はどうだったのか…と自問自答ばかりでした。自分と向き合い、学んだことをこれから活かしていけたらと思いました。
研修に参加させて頂きました。

全国知的障害関係施設長等会議

支援員 白澤 春菜

平成三十年七月一日・三日の二日間、東京国際フォーラムにて、全国知的障害関係施設長等会議が行われました。「これから障がい福祉と事業者が目指すもの」をテーマに、障がい福祉に求められるものは何か、地域における社会福祉法人の役割とは何か、考える機会をい

ただきました。
障害者総合福祉法の改正を受けた平成三十年度障害福祉サービス報酬改定においては、障がいのある方が望む地域生活を営むことができるような「生活」「就労」に対する支援、「医療的ケア」必要とする障がい児への支援など、障害福祉サービスの充実が図られました。また、相談支援の強化、緊急時の受け入れなど、地域の支援体制に向けた総合的な見直しも行われています。

昭和から平成、平成から「〇〇」へ…。新しい時代への移り変わりとともに、「地域共生社会」の実現に向け、必要とされるサービスも変化していくのではないかでしょうか。
今回学んだことを活かし、様々なニーズに対応できるよう、支援の質の向上に努めてまいります。

知的障害児・者関係施設 中堅職員研修会 栄養士 千代森 奈々

平成三十年十一月二十九日・三十日の二日間にわたり、サンロイヤルホテルにおいて知的障害児・者関係施設 中堅職員研修会が開催されました。私の印象に残ったのは、コミュニケーションについての講話でした。コミュニケーションなどは、相手に向かって言葉を投げかけることでも、相手に対して語りかけることでもなく、自分が伝えようとした意味を相手と共有することです。

お互いのモットー「凜と優しく美しく」を思い自身の支援の在り方を考えながら利用者様と楽しく笑顔の絶えない日常生活が送れるように、一日一日を大切に、慌てず充実した仕事が出来るように努めて行きたくと思います。今後とも御指導の程宜しくお願ひ致します。

たきました。
中堅職員に「ぞむこと」をテーマとするグループワーキングの中で、中堅職員とは、サンドウイッチで例えると、中身の具材。
おいしく頂けるかは、中堅職員の腕次第。という意見が出ました。私も“きずな”的の味の決め手となるような職員を目指していきたいです。今回の研修を通して、中堅職員が必要とされている部分は大きく、自分自身を振り返る良い機会となりました。全ては利用者様へ直結して、中堅職員が必要とされている部分はいくことであるので、今の状態に満足するのではなく、前進していきたいです。
今回はこのような意義ある研修に参加させて頂きました。

てきました～。

元 哲朗



物館の前にて

十六日(金)の三泊四日の日程で、台湾まで行ってきました。（利用者様、ご家族、職員合わせて総勢九八名！）きずなの海外旅行としては、香港、ハワイ、グアム、上海につづき五回目となる今回の旅。台北市での夜市の散策や、高層タワー一一〇一や古寺めぐり。

十ふんでの幻想的なランタン上げ体験、故宮博物館や伝統芸術センターの見学等々。盛りだくさんの観光



台湾旅行へ出発～！
「行つてきます♪」



士林夜市を散策しました。
屋台がたくさん！食べ歩き楽しかったです。



忠烈祠の前にて 衛兵交代式は、お見事でした！

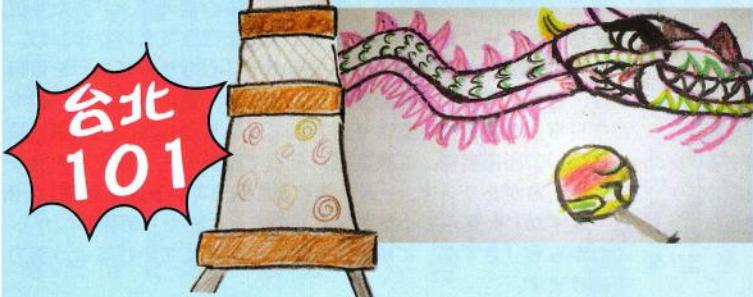


十ふんでの幻想的なラン
タン上げ体験、故宮博物館
や伝統芸術センターの見学
等々。盛りだくさんの観光

ー？！」

台湾旅行に行つ

サービス管理責任者



台湾料理堪能しました♪



故宮

お買い物にと、めいいっぱい台湾を満喫することができました。
大きなアクシデント等もなく、「きずなファミリー」の海外旅行に対する経験値の向上(ソーシャルスキルの向上)というものを、また改めて実感させられた四日間でした。



龍山寺にて。
台湾を代表するパワースpot !!



国立伝統芸術センターにて
レンタル衣装に着替えて、タイムスリップ !



忠烈祠・狛犬の前にて
「はい！ポーズ！」ガ

平成29年度 事業報告

1. 総括

おかげ様をもちまして、平成29年度も、恙なく無事に終わることができました。心より感謝申し上げます。

平成29年4月に社会福祉法の改正が施行されました。これに伴って、当法人も定款の改正を行い、評議員選任・解任委員会による評議員の選任、さらに評議員会による理事・監事の選任方法の変更により、業務執行機関としての理事会、並びに議決機関としての評議員会と、これまでの体制が一新されました。今までよりも更に社会における、社会福祉法人としての役割の重大さを感じる一年となりました。地域における社会福祉の課題が山積するなか、当法人としても、関係機関と連携をとりながら、諸問題に真摯に向き合い、何にどう対応していくかを模索していきたいと考えております。

また、「きずな」の事業が開始されて四半世紀余りとなり、ご利用者のニーズも多様化、複雑化してまいりました。ご本人、そ

してご家族の老化・高齢化が喫緊の課題となるなか、ご本人の「幸せに、豊かに生きる権利」を、ご家族の皆さまとともに、どう保障していくのかという大きな宿題も抱えております。

平成29年度も全職員が「些事入魂」の心構えで、「当たり前の生活」を大切にし、きめ細やかな支援を行ってまいりました。個々人の生活史を尊重し、命を見据えた「心のサービス」を目指して、日々研鑽し、それを共有することで、更に質の高い「穏やかな日常」を提供できるよう努力してまいりました。社会福祉法人には、ご利用者様、ご家族様、そして職員の生活の安定を守っていく使命があります。「今、ここ」に生きている命に感謝し、また「きずな」を支えてくださる多くの方々に心から感謝しながら、これからも「きずな」に求められるものに応えていけるよう努力を続けます。

2. 異動（平成30年3月31日現在）

きずな学園	職員/新規採用なし	児童デイサービスきずな	職員/新規採用0	退職1	本部	職員/新規採用なし
セカンドハウス きずな野	職員/新規採用1	デイセンター ゆう	職員/新規採用0	退職3		

3. 利用者の状況 年齢別状況（平成30年3月31日現在）

性別	年齢別状況				計
	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上	
男性	0	3	7	1	11
女性	0	2	5	2	9
合計	0	5	12	3	20

平均35.6歳（男性33.7歳・女性38.0歳）

性別	年齢別状況				計
	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上	
男性	0	0	4	4	8
女性	0	0	8	4	12
合計	0	0	12	8	20

平均35.6歳（男性33.7歳・女性38.0歳）

性別	年齢別状況				計
	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上	
男性	4	9	6	19	
女性	4	0	0	4	
合計	8	9	6	23	

児童デイサービスきずな

性別	年齢別状況				計
	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上	
男性	11	3	0	5	0
女性	0	2	0	2	0
合計	11	5	0	7	0

平均41.1歳（男性41.5歳 女性40.7歳）

性別	年齢別状況				計
	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳以上	
男性	0	0	0	2	2
女性	0	1	1	1	3
合計	0	1	1	3	5

平均41.1歳（男性41.5歳 女性40.7歳）

平均41.1歳（男性41.5歳 女性40.7歳）

4. 日中活動報告

- ・ハビリテーション（健康維持・増進活動）：PT（理学療法士）指導による運動、園庭や学園近辺での歩行運動、ボール遊び等
- ・音楽療法：ミュージックセラピスト（音楽療法士）による活動、吉野町ワンボリーでのカラオケプロドラム奏者による「リズム・ハート」（月2回、打楽器を中心としたセラピー）ダンス専門講師による、リズム体操
- ・社会参加活動：ドライブ、配達、イベント参加、外食等
- ・芸術・文化活動：絵画療法、陶芸他
- ・仕事体験活動：さわり、手芸品製作、園芸、木工製作、紙すき、ウエス作業、タオル作業、その他
- ・極真空手、週一回、学園・きずな野・ゆう、各施設毎に活動している。

5. 年間行事報告

- 4月 お花見 施設親善球技大会
- 5月 ゴールデンウィークリベーション・監事監査・大明丘小学校交流会
- 6月 耳鼻科検診・市職員親善球技大会・クラフト大会・福祉フェスタin吉田・理事会・評議員会・ナイスハートスポーツ大会
- 7月 クラフト大会
- 8月 サンライフプール・通園者夏季在宅・きずな夏季野外キャンプ・山形屋作品展示、即売会・第一期終業式
- 9月 ふれあいスポーツ大会・健康診断
- 10月 バイロットウォーク・在宅スポーツ大会・吉田葬祭芋ほり
- 11月 インフルエンザ予防接種・城山ライオンズチャリティー・わくわく福祉フェスタ・県福祉大会・きずな大運動会
- 12月 クリスマスパーティ・サンエール祭り・きずなクリスマス会・第二期終業式・通園者在宅・赤い羽根共同募金・大相撲巡業鹿児島場所
- 1月 第三期始業式・新成人を祝う会
- 2月 おでかけイベント
- 3月 学生さんとのボウリング大会・グラウンドゴルフ大会・理事会・法人家族会・職員健康診断・第三期終業式・おでかけイベント・お花見
 - *毎月実施 職員会議 ケース会議 職員研修 体重・体脂肪・血圧測定 リズムハート ファミリーマートバザー スポーツクラブ
 - *毎週実施 音楽 踊り(野) 水曜日レクリエーション (学生さん／月1回) リハビリ 火・木曜日カラオケ 金曜日水泳 (ふれあいセンター) リズム体操

6. 研修報告

- 園内研修 施設職員研修（全国・九州・県・市） 施設長研修（全国・九州・県・市） 育成会研修（全国・九州・県）
- 作業所・日中研修（全国・九州） 生き活き人生サロン その他

7. 交流

- 武岡台養護学校、鹿児島高等特別支援学校、吉野中学校、吉野東中学校、吉野東小学校 吉田南中学校、国際大学、志学館大学、純心女子大学、純心女子短期大学、バイロットクラブ、清水地区民生委員、中洲地区民生委員、名山地区民生委員、玉里地区民生委員、西本願寺上町地区婦人会等の各種ボランティア団体、大勢の方々と実りの多い交流ができました。他に、国際大クラブ大会、国際大学園祭、指宿商業高校文化祭、吉野兵六ゆめまつり、吉田町福祉まつり、おはら祭り、わくわくフェスティバル等に参加

8. 特定相談支援・障害児相談支援事業

- 平成28年2月に開所した相談支援センターあこでは、相談者（児）が有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、心身の状況及び置かれている環境等に応じて、適切な福祉サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立の立場から相談・計画作成事業に取組んでいます。

きずなの大がま

みかん狩り

ふれあいスポーツ大会

親善球技大会

**ゴールデンウィークイベント
神川大滝にて**

一日おでかけ

サンライフプール

パイロットウォーク

編集後記

5回目の海外旅行！皆さん不安もなく、慣れたご様子。経験していく事の大切さを改めて実感しています。新年度は大きく変化する年度。また一つひとつ皆さんと経験が積めると思い、わくわく楽しみです。
(西郡)

**げんき
いつぱい！**

納涼船

運動会

芋ほり

お花見

グループホーム「こう」上棟式

新しいなかまです。

**クリスマス会
ナイスハート**

大明丘小学生と交流会